

### 令和3年度第3回学校関係者評価委員会議事録

日 時：令和4年3月25日（金）13：00～14：21

場 所：千葉経済大学 大会議室

出席者：

1	佐久間 勝彦	理事長・大学学長・短期大学部学長・高校校長
2	佐久間 美羊	副理事長・准教授
3	小滝 敏之	常任理事・特任教授
4	山浦 裕幸	経済学部長・教授・理事・評議員
5	横山 洋子	こども学科長・教授・評議員
6	飯島 一生	高校副校長・評議員
7	山口 博	法人事務局長・大学・短期大学部事務局長・理事・評議員
8	長谷川七三一	千葉経済大学附属高等学校同窓会会長・評議員
9	鈴木 真理子	千葉経済大学父母の会会長・評議員
10	今井 一夫	千葉経済大学短期大学部同窓会会長・評議員
11	荻野 忍	千葉経済大学附属高等学校父母の会会長・評議員
12	畠山 一雄	(学)畠山学園理事長・評議員
13	茂手木 直忠	医療法人社団直心会理事長・校医・産業医・評議員
14	影山 美佐子	ビジネスライフ学科長・教授・理事・評議員
15	山田 清實	元伊藤忠エネクス取締役会長・評議員
16	勝又 隆一	勝又自動車株式会社 代表取締役社長・評議員
17	山口 和夫	(株)さつま屋社長・評議員
18	村松 重彦	(学)聖メリー学園・小ばと幼稚園理事長、園長・評議員
19	石渡 哲彦	株式会社千葉銀行顧問・評議員
20	佐久間道子	評議員
21	栗沢 尚志	大学教授・評議員
22	藤代 謙二	(株)ちばぎん総合研究所顧問・評議員
23	積田 悟	前高校副校長・評議員
24	嶋田 和雄	(株)グランドアール取締役・評議員
25	植松 省自	税理士法人京葉会計事務所代表社員・学園監事

## 1. 開会のあいさつ

## 2. 理事長あいさつ

### 議題

#### 【1】令和3年度補正予算について

石井 伸 会計課課長代理から、「令和3年度資金収支補正予算書・事業活動収支補正予算書」に基づき、科目ごとに3年度当初予算に対する3年度補正予算の増減額及び増減理由の説明があった。

#### 【2】令和4年度事業計画について

山口 博 法人事務局長から、「令和4年度事業計画(案)」に基づき、令和3年度と異なる点を中心に学園全体及び各学校の令和4年度事業計画が説明された。

### 基本方針

建学の精神「片手に論語 片手に算盤」及び校是・校訓に基づき、教育の質の確保・向上を図り、良識と創意に満ちた感性豊かな人材の育成の実現に向けて教育研究を推進する。

新型コロナウイルス感染拡大防止に引き続き万全を期するとともに、学園の発展を期するために、学生・生徒数の確保と徹底したコスト抑制を行い、財務体質の健全化を図りつつ、教育環境の整備を行う。

### 令和3年度事業計画

#### 〔千葉経済学園〕

##### ●建学の精神の啓蒙

建学の精神「片手に論語 片手に算盤」について、「今月の論語」の教室掲示や総合図書館の「論語コーナー」設置等の多様な取組みを通じて周知徹底を図る。

##### ●大学・短期大学・高校の三者連携推進

「千葉経済学園三者連携会議」を軸に、教育、入試、進路指導、広報、学生・生徒の諸活動等にわたって三者間の密なる機能連携を図る。

##### ●学園情報のデータベース化

継続事業である学園全部門の文書資料の体系化とデジタル化及びデータベース化推進の一

環として、文書管理システム（楽々Document Plus）の導入を検討する。

●感染症対策を講じた授業運営

引き続き新型コロナウイルス感染症対策の諸措置を講じ、対面（面接）授業を中心とする授業運営により、学生・生徒への教育の質の充実に努める。

●ボランティア活動の推進

千葉経済学園ボランティアセンターが中心となって、地域の関係団体と連携したボランティア活動を推進し、学生・生徒のボランティア活動を支援する。また、地元企業や商店と商品開発を行い、地域に喜ばれる商品を還元していくことにも挑戦する。

●資格取得奨励

大学・短期大学・高校のそれぞれにおいて各種検定・資格試験の合格を奨励し、高度の資格取得者には奨励金を授与する。

●防災備蓄の整備

引き続き大学・短期大学・高校の学生・生徒・教職員用に非常用食料や毛布等の防災用品を計画的に備蓄し、災害時に備えた対策を推進する。

●働き方改革関連法への対応

① 引き続き労働条件の改善や雇用形態の異なる職員間の均衡の取れた待遇を確保し得るよう規程を見直す。

② 段階的に施行される育児・介護休業法の改正に伴い、就業規則の見直しを行う。

●教職員及び学生・生徒の職域接種の実施

地域の医療機関と連携して、教職員及び学生・生徒に対し、新型コロナウイルスワクチンの職域接種を実施する。

●地域との連携

「株式会社千葉ジェッツふなばし」との「オフィシャルサプライヤー契約」に基づき、ユース選手の練習に短期大学体育館を提供するとともに、大学・短期大学の授業への講師招聘や、附属高校のバスケットボール部との交流などの連携協力を行う。

●学園 90 周年記念事業について検討を進める。

〔千葉経済大学附属高等学校〕

●「令和の日本型学校教育」構築に向けた教育の充実

新学習指導要領の謳う「主体的・対話的で深い学び」の実現に努め、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を適切に連動させて、生徒一人ひとりの可能性を引き出す授業展開に努める。

●観点別評価を活かした学習評価とキャリアパスポートによる指導の充実

新学習指導要領によって観点別評価が導入されることを踏まえて、3観点（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）を評価する評定に努める。また、生徒には、「キャリアパスポート」に学内外での活動を随時記載して自らの成長を確認させて、キャリア指導に活かしていく。

●教育環境の整備

- ① 新校舎全体の空調機器の改修は3ヵ年計画の2年目であったが、機器の劣化が進んだことに伴い、令和5年度分工事の前倒しをして令和4年度分工事と合わせて実施する。
- ② 各教室、体育館でWi-Fiが利用できるように無線LAN環境を整備する。
- ③ 全教員（非常勤教員含む）を対象としてSurface Go 3を導入する。
- ④ 既存パソコン教室に加えて、パソコン41台を備えたパソコン教室（1教室）を新設する。

●授業内容の充実による学力向上

新教育課程への移行初年度として、各教科に求められる指導内容について共通理解をはかり、その内容の充実に努めるとともに、より良い教育課程とするためカリキュラムマネジメントを進める。また、授業におけるICT活用や、非常時のオンライン授業についても充実に努める。

●特進コースの教育充実と大学進学実績の向上

特進コースの教育の充実に努めるとともに、多様化する大学入試にも対応した適切な進学指導が行えるように入試への対応を進める。また、国公立難関大学への進学実績を高めるとともに、理系科目の選択が可能となるカリキュラムへの移行を行う。

●専門科教育の充実

専門科目の教育の充実に努め、すべての生徒の資格取得を促すとともに高度資格に挑戦する生徒を支援する。また、ビジネス社会で役立つ実学として地域の産業界の協力を得て、商業教育の集大成として位置づけられる授業「課題研究」の充実に努める。

#### ●部活動の振興

「部活動の在り方」についてのガイドラインに則って、教員の働き方改革も含め、合理的かつ効率的・効果的な活動により生徒の資質・能力を伸ばし各種大会での活躍を目指し、文化部においても学校内外に文化的発信ができるよう振興に努める。

#### ●定員確保のための生徒募集活動の遂行及び広報活動

魅力ある高校としての広報充実に努め、より高い学力レベルの生徒や、いろいろな分野で頑張る生徒の入学が実現されるように、全教職員が総力をあげて取り組む。

また、スクールミッション・スクールポリシーを策定し、本校の教育内容を公表するとともに、本校の魅力を明確化した広報活動に努める。

#### ●いじめ及び体罰の防止

「いじめ及び体罰防止対策委員会」を活かして、いじめ及び体罰の防止に積極的に取り組む。

#### ●教員研修の充実

教員免許更新制度の発展的解消に伴い、校内研修の充実によって教師力の向上に努める計画を策定する。

経験年数の浅い教員への研修を計画的に実施し、教員としての資質の向上を図る。また、新学習指導要領の目指す学力の育成のため、全教員が教科研究授業や論語公開授業などにより、教育力の向上を目指すよう努める。

令和5年度入学生からのタブレット導入に向けての教員研修を進める。

#### 【3】令和4年度予算について

石井 伸 会計課課長代理から、別添4「令和4年度資金収支予算書・事業活動収支予算書」に基づき、科目ごとに3年度補正予算に対する4年度予算の増減額及び増減理由の説明が行われた。

#### 【4】その他（報告事項等）

##### 近況報告

飯島 一生 高等学校副校長より近況報告があった。

3年度の卒業生の状況ですが、普通科308名、商業科137名、情報処理科124名、合計569名が巣立って行きました。その進路の内訳ですけれども4年生への大学の進学は59.6%、短期大学進学は6%、専門学校25.8%、就職3.5%とすることで、短期大学は少し減っているのかなと言うところで大学、専門学校が大きな数字を示しています。

す。その中で経済大学への進学が56名、経済大学短期大学部への進学は23名で合計79名と言うところで、ここ数年よりも今年は少なかったようです。来年に向かっては連携を密にして是非、系列校での学びを進めて行ければと思っております。コロナに左右される1年でしたけれども、特に3学期につきましては高校生への感染数が非常に拡大して、本校の生徒もかなりの数の感染者を出しました。ただ、クラスターになることはなく幸いにも学級閉鎖ですとか休校措置を取らずに予定された学年暦を終了することが出来たのは不幸中の幸いだと思えます。特に3年生については学校行事は、ほとんど出来ず修学旅行へも行けなかったと言うことで、卒業式の前日に父母の会の計らいで、ハラミちゃんのミニコンサートをサプライズで実施と言うことで最後に思い出を持って卒業してくれたのではないかと思います。4月には普通科282名、商業科103名、情報処理科206名、合計591名の新入生を向かえることになっていますので来年度に向かって準備を進めて行こうと思えます。よろしくお願ひします。